

四月十四日

何だか日記のメモをつける気にもなれず数日を過ごした。忙しかった猛烈に。たかだかのメモつける余裕が無いくらいに消耗した数日であった。李祖原、ライターと毎日顔を付き合わせているのも仲々大変なのも解った。言葉が先ず大変です。今日は朝世田谷地下。午後大学で沖縄の打ち合わせ。沖縄はこれから先三年間中心的なプロジェクトにするつもりだから腰を据えて取り組まなければ。藤沢の高橋さんからメールをいただく。難病と対面しながら生きている方で、そのための家を設計せよと言つ。私の研究室の仕事も調べて下さっているようで、喜んで引き受けたいと思う。人間は程度の差はあれ皆何かのハンディを背負って生きている。私だってそうだ。眼に視えにくい障害だって沢山持っている。他人のハンディは視えやすい。自分のは視えない。又、他者への想像力というのは口で言うのはたやすいが、それを具体的に働かせるのは極めて難しい。高橋さんにお目にかかるのが楽しみだ。

ヴェネチアのINTERNATIONAL SCHOOLへの早稲田STUDIOの具体策をJ・GLEITER教授にお願いすることにした。私も秋には二週間程行くつもり。沖縄と上海を結び付ける努力も始めなくては。疲れてるヒマはネエな。

四月十五日

朝七時二〇分のぞみで大阪へ。久し振りだな、このメモをリアルタイムで記しているのは。書かねばならぬ原稿が数え切れぬ程ある。来週はドイツ・ワイマールのバウハウス大学へ行かなくちゃならない。ジタバタ動いているのが滑稽な逃亡劇に見えてきてしまう位だ。しかしとあきらめてジタバタし続けるしかないだろう。一昨日の日曜日に屋上菜園に上ったが。緑が急に増えていた。ナス、キュウリの苗を少しばかりと、ウリ、エンドウの種を植えたが、小さな菜園いじり位で疲れは消えるもんじゃなく全く。名古屋を過ぎたな。二十二時半ホテル日航にたどり着く。シヤープ主催のコンペの一次審査を終え、かなり疲れた。今日はもう寝よう。室内その他の原稿は今夜はもう無理だな。こんな風にして日々を苦しんでいるだけの日々なのだ。つまらぬ追手に追われて立ち消えるばかりだよ全く。明日は八時三〇分にロビーで待ち合わせ。忘れぬようにここに記す。

四月十六日

七時頃起床。密閉された部屋はどうも居心地が良くない。やっぱり世田谷村のようにいつも空気が流れているのが良い。たとえそれが狭間風であろうとも。日本の作り方は精度にだけ精力が注ぎ込まれている。他に力を注ぎ込むべきべき目標を持つとしないからだろう。今日は朝シヤープの奈良工場で太陽光セルの生産現場を見て、午後大阪に戻る予定。八時半ホテル発。車で奈良シヤープ工場へ。シリコンセルの製造工程見学。大まかな理解では技術集約型のセル生産の工程と、セルをガラスに装置する工程のレベルがまるで違う。ここにソーラーセルの商品としての問題があるように思う。十二時半大阪に戻り、コンペの一次審査のまとめ十五時半大阪駅へ。十六時過の、のぞみで帰京。ガラスの家とソ

ーラーセルを結び付けるアイデアに少し実際的な手掛かりを得た。やはりモノが作られる現場に触れるのは大事だね。二〇時世田谷村に戻る。

四月十七日

昨夜は眠ったり起きたりで室内原稿を書き上げた。オフィスビルについて、断片的ではあるが考えをまとめてみた。今日は学校が何かと忙しい。朝十時からCY・LEEのレクチャーがあるので顔を出したい。李祖原のエネルギーシユなレクチャーを聞き、十三時過スタジオGオープン。上手くいけば良いが。三人の国籍も文化も異なる教師の混成形式の指導が私にも学生達にも、学校にも何かの刺激になれば良いのだけれど。四十五人の参加者でスタート。人数は丁度良いスケールだね。その後二本インタビューを受け、十九時若松氏とミーティング。社屋の建設について。若松氏とは久し振りだが元氣そうで安心した。大久保駅前のそば屋で李祖原若松両氏と食事。若松さんのインターネットビジネス業界の浮沈のスピードは建設業界のスピードとは全く別世界のようだ。良く生き延びているなこの人は。